

リカレント教育エコシステム構築に向けた、 大学向けノウハウ集（概要版）

令和6年度補正予算「リカレント教育エコシステム構築支援事業」

2026年3月

全世代の学習ニーズに応えていくことが、これからの大学の大きな役割

技術や社会が急速に変化する中、個々人の人生・雇用や我が国の成長にとって、
社会に出てからも学び続けることが必要であり、その機会をどのように確保するかが重要な時代。
産業界と教育界の双方がビジョンを共有しながら、「学び続ける社会」の実現に向けて取組を進めていく必要。
大学はこれまでの18歳中心主義から転換し、社会人のリ・スキリングの拠点となることが期待される

企業からの ニーズの高まり

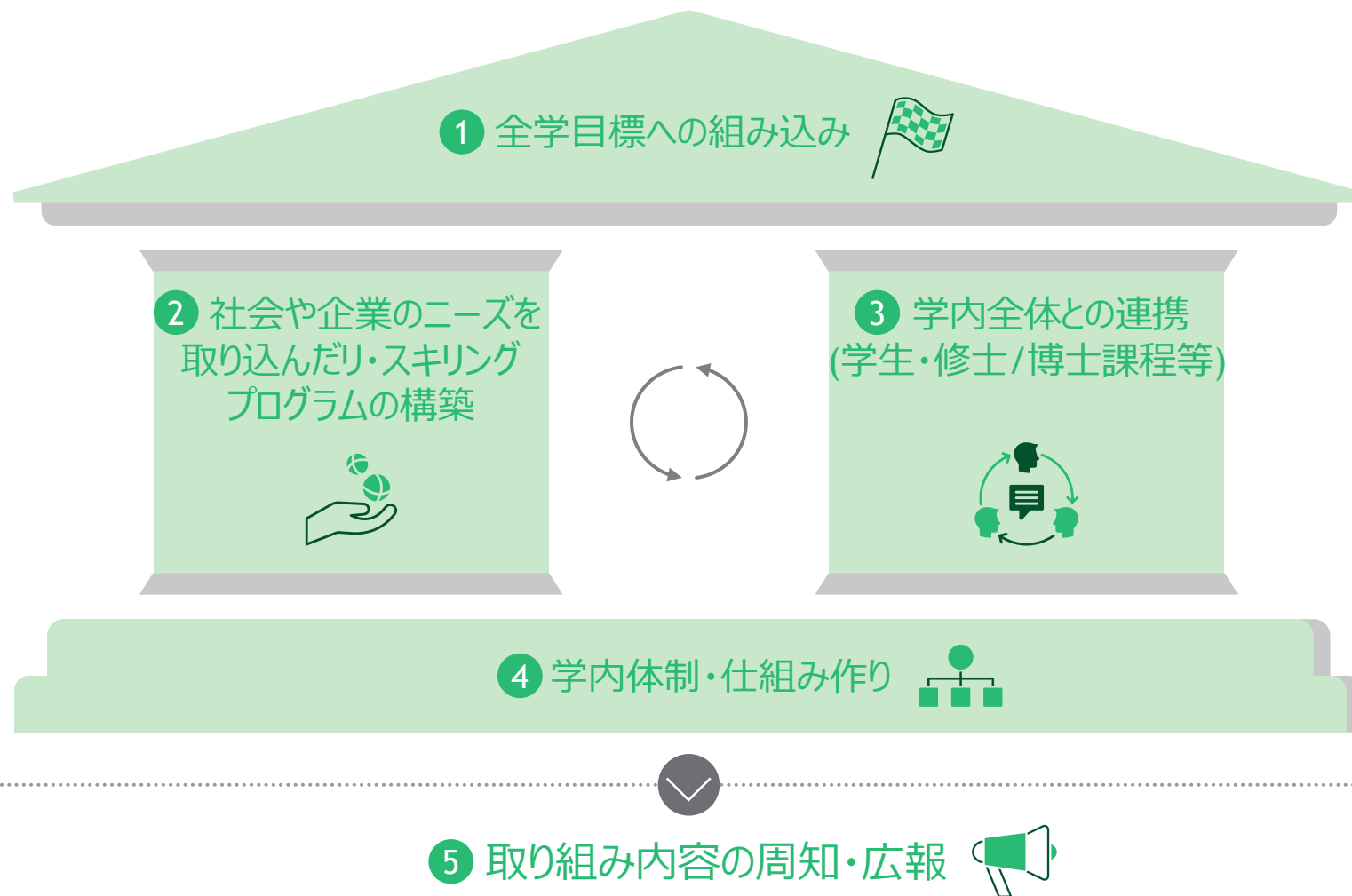
- 成長領域を作っていく人材に対する、企業ニーズの高まり
- 資本市場・労働市場における、人的投資への注目の高まり



大学を取り巻く 環境変化

- 人口動態の変化による大学生相当の人口の減少
- 大学等の自律的・持続的な成長への期待の高まり

大学におけるリ・スキリングの推進・提供に向けては、 5つの要素が不可欠



詳細のノウハウ集は
こちら



リ・スキリングプログラムを開発・提供するにあたっては、 社会・企業ニーズを捉えたプログラム設計を行い、収益化していくことが重要



社会やの企業ニーズを 捉えたプログラム設計

- 対象者・受講後に目指す姿の具体化・言語化
- 上記を踏まえた、プログラムの内容・カリキュラムの設計や重みづけ
- 企業が現実的に社員を派遣できる要件を意識し、働きながら学ぶことができる設計
 - 時間/期間、オンライン/対面 等
- 修士・博士課程等との接続を意識した体系的・継続的な学びの提供
 - リ・スキリングプログラムの受講を単位認定する 等



収益化・プライシング

- 大学ならではの付加価値と強みを活かした、価格競争にならないプログラム設計
- 競合や民間との差別化を検討した上で、受講料を徴収

収益化ガイドラインの詳細はこちら

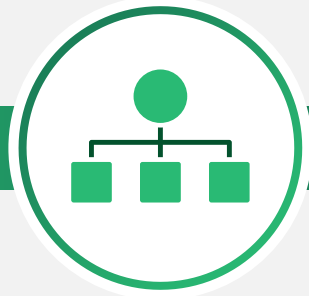


並行して、大学学内において、リ・スキリングを継続的に提供・推進するにあたっての体制を整備していくことが重要



経営層の コミットメント

- 経営層がフルにコミットする体制を構築
- 全学を挙げての取り組みとして推進していくことが必須



組織体制の 構築

- 学部・学科・教員を横断しての意思決定ができる組織体制の整備が重要
- ノウハウを蓄積・共有し、更なる高付加価値のプログラム提供に繋げる



コーディネーター 人材の獲得・育成

- 持続的な推進には、社会や企業のニーズを的確にとらえたプログラム設計・企業営業ができるコーディネーターの獲得が必須



教員の インセンティブ向上

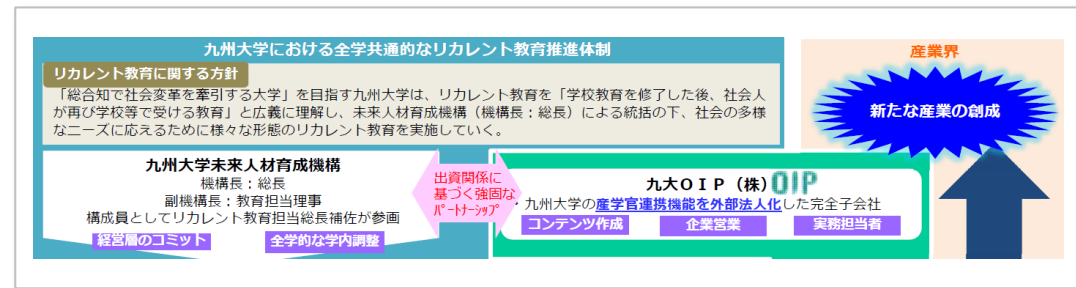
- 金銭的・非金銭的インセンティブを付与することによって、教員が持続的に参加できる/したいと思える環境づくりの整備が重要

体制構築を行い、全学的にリ・スキリングプログラムの提供を進める 好事例も存在 (一例)

九大OIPを立ち上げ、 全学的な推進に注力



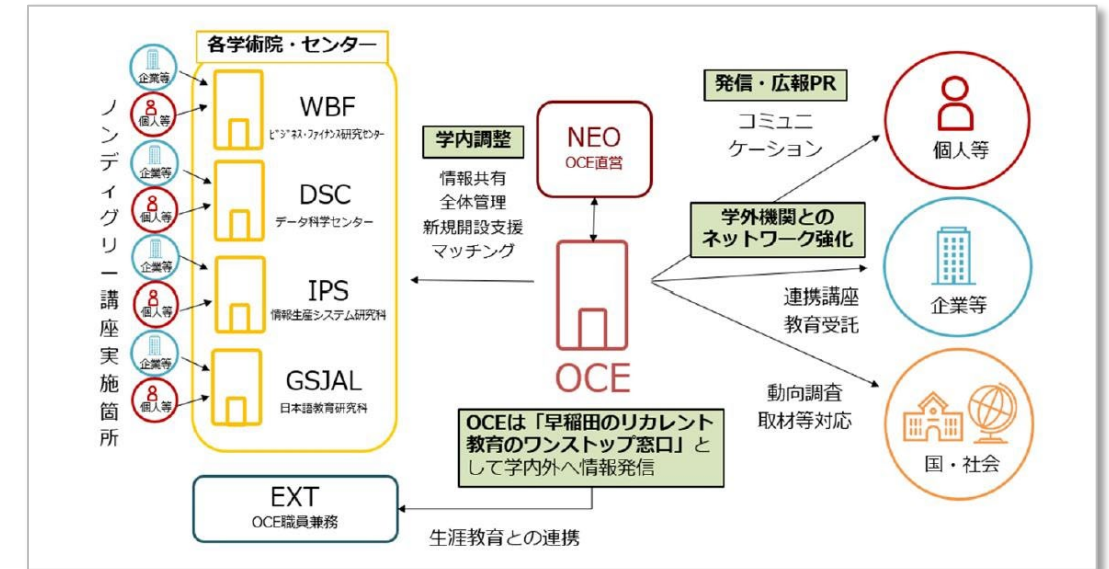
産学連携機能を外部法人化した完全子会社を立ち上げ、
コンテンツ作成・営業・実務を担う



全学横断組織を立ち上げ 全学的な推進に注力



コンティニューイング・エデュケーション推進室 (OCE) を設置し、
企画・運営、管理・調整や、ワンストップの窓口として
情報発信を実施



大学のリ・スキリングプログラムには、"大学ならではの" の価値が存在



理論×実践による教育効果

- 大学ならではの、最先端の知見を取り込み
- 実務経験を、体系化された理論・フレームワークにて提供
- 一過性のスキルでなく、汎用性・再現性の高い知識の提供



視野の拡大・視座の引き上げ

- 自社・自業界に閉じない、俯瞰的・中立的な視点の提供
- 学術的議論を通じて、思考の深さ・問いの立て方を変える必要性への気づきの提供



他社・他業界・学生との交流・ネットワーク

- 他社・他業界の社会人 + 学生との混成環境による学びの深化



参加者の声

理論に裏打ちされた学び

- “ 実務経験を、体系化された理論・フレームワークで再整理できた
- “ 一過性のスキルでなく、汎用性・再現性の高い知識を学べた

視座の引き上げ

- “ 自社・自業界に閉じない、俯瞰的・中立的な視点を学べた
- “ 学術的議論を通じて、思考の深さ・問いの立て方を変える必要性を感じた

多様なバックグラウンドとの交流

- “ 他社・他業界の社会人 + 学生との混成環境が刺激になった



プログラムに
参加した
受講生・
企業からの声

産学連携による知の獲得

- “ 最新研究・先端的な知見や、体系的な学びを得ることで、社員の視野が広がる/刺激になるのではないか

越境学習による人材変容

- “ スキルの修得に加え、他業種との交流が期待できる
- “ 社外の参加者との議論を通じて、自社内では得られない視座の拡張や思考の刺激が得られるのではないか

人材育成の質の担保

- “ 大学ならではの学術的な専門性と、最新技術を体系化した「質の高い教育」が民間講座とは異なる



企業の声

大学においても、多様なテーマでリ・スキリングプログラムを提供 (一例)

産業特化

半導体 



グリーンエネルギー 



バイオ・ヘルスケア 



産業横断

マーケティングプロフェッショナル 



GXプロフェッショナル 



サプライチェーンマネジメント 



経営人材

経営人材育成 



武蔵野美術大学



学校法人 先端教育機構
事業構想大学院大学

リカレント教育エコシステム構築支援事業:
メニュー ①・② の事例集はこちら



受講生派遣した企業からの具体的な声 (抜粋)



北海道大学
HOKKAIDO UNIVERSITY



伊藤組土建



社会変革を先導するDXプロフェッショナル人材育成
- ケーススタディ型学習による人材輩出の加速化 (DXプロ)

- “各部署の課題抽出をさらに発展させるために受講させたが新しい知見を得られた事例が見受けられた
- “受講を通して、個々の受講生の向上心というのを見ることができ、より同じ方向を向くことができ、チーム力の向上につながった



島津分析イノベーション協働研究所
パーソル高度バイオDX産業人材育成協働研究所
パナソニック基盤協働研究所

Industry on Campus型リカレント教育エコシステム構想
-REACH × バイオDX × ビジネスデザイン- (バイオ・ヘルスケア)

- “本質や大局を見抜いた第一人者から知恵を授かり、最先端の知識を大学で学ぶことが効果的
- “AI技術のような、進化のスピードが速く企業単独では整えにくい領域の人材育成を補完するリ・スキリング・エコシステムの重要性を実感



国立大学法人
長崎大学
NAGASAKI UNIVERSITY



環境コンサルティング企業

産学連携洋上風力人材育成リカレント教育エコシステム構築事業 (洋上風力)

- “自社のみでの情報収集には限界があり、大学の有識者から知見が得られ、受講した同業他社とも意見交換ができることが有意義



流通経済大学



物流系企業 化学系メーカー

SCMプロフェッショナル人材育成プログラム (SCMプロ)

- “ケースメソッドなどが企業では取り組めないため、非常に刺激のある構成であったと聞いている



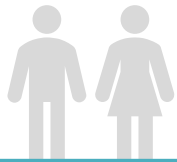
製造/IT/商社・物流/サービス
/建設 系企業、公共系

SCMリカレント教育プログラム (SCMプロ)

- “東大教員による先端理論と、ユニクロやアマゾン等の実務家講師による具体事例が融合しており、「実務への応用力」と「視座の引き上げ」が行われた
- “『2024年問題』や「地政学リスク」といった直近の経営課題に直結するカリキュラムであり、特にDX・データ活用への意識変革において企業ニーズと強く合致

未来の競争力は「学び直し」で決まる！！

産学官の連携によるリ・スキリングこそ
大学が今打つべき次の一手



個人



企業



日本



未来

我が国の未来のために
あらゆる世代が学び続けられる社会の実現に向けて
ぜひご協力ください！